

# 水素ステーションの設備導入・ 運営費を東京都が支援します!

東京都は、水素エネルギーを普及させるため、  
水素ステーション設備等の導入・運営に対して、  
助成を行っています。



## 水素ステーションとは…

燃料電池自動車に水素を供給するための  
定置式又は移動式の設備です。



公益財団法人 東京都環境公社  
(東京都地球温暖化防止活動推進センター)

# 水素ステーション設備等の 導入・運営支援事業

## 助成対象者

民間事業者

## 助成対象

都内に設置する燃料電池自動車及び燃料電池バスに水素を供給するための水素供給設備の整備費及び運営費

## 助成条件

国の「燃料電池自動車の普及促進に向けた水素ステーション整備事業費補助金」の交付対象として決定したもの 等

## 助成額

### ①整備費

新規整備	種類	助成率(国補助と都助成を合わせた金額)
	乗用車用	4/5(大企業)、全額助成(中小企業)
	燃料電池バス対応	全額助成

\*水素供給能力、供給方式等により上限額が定められています。

増設・改修等	対象	助成率	上限額
	燃料電池バスの対応に必要な増設・改修	4/5	4億円
	障壁の設置、既存設備の撤去・移設	4/5(大企業)、 全額助成(中小企業)	3,000万円
	次世代キャノピーの設置	4/5	1億円
	土地の造成	1/2	1億円
	水素ST併設・転換に伴う営業損失経費	全額助成	500万円

### ②運営費

対象	助成率・上限額
土地賃借料	1/4
設備運営費(乗用車用)	500万円(大企業)、1,000万円(中小企業)
設備運営費(燃料電池バス1系統対応設備)	1,000万円(大企業)、2,000万円(中小企業)
設備運営費(燃料電池バス2系統対応設備)	2,000万円(大企業)、4,000万円(中小企業)

## 申請方法

電子申請システム(Jグランツ)からお申し込みください。

## 受付締切

①整備費		令和4年(2022年)3月31日(木)
②運営費	土地賃借料	令和4年(2022年)3月31日(木)
	設備運営費	令和4年(2022年)2月28日(月)

詳しくは、クール・ネット東京ホームページをご覧ください。

整備費：[https://www.tokyo-co2down.jp/subsidy/hydrogen\\_sup](https://www.tokyo-co2down.jp/subsidy/hydrogen_sup)

運営費：[https://www.tokyo-co2down.jp/subsidy/hydrogen\\_act](https://www.tokyo-co2down.jp/subsidy/hydrogen_act)

お問合せ先

東京都地球温暖化防止活動推進センター(クール・ネット東京)  
都市エネ促進チーム



〒163-0810 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル14階

TEL:03-5990-5159

受付時間:月曜日～金曜日(祝祭日・年末年始を除く。)

9:00～17:00(12:00～13:00を除く。)

クール・ネット東京

整備費

運営費

